

目標達成計画

作成日 : 平成 26 年 8 月 29 日

評価結果

市町提出日 : 平成 26 年 12 月 13 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	「次のステップに向けて期待したい内容」について、指摘を頂いた、看取りの実施については、利用者、その家族の思いや要望と、運営者、医療機関、事業所の体制など、熟慮、検討の上責任ある判断を下さなければならない。	終身施設、病院等へ、利用者を送り出すごとに、グループホームの限界を感じているようである。身勝手な、一時の感情から終生の支援を夢見るのであれば、無責任の誇り免れない。	真に「利用者本位」の立場から支援の可能性を確認でき、挙げて看取りに取り組むべきとおもわれるまで慎重、論議をかさねるべき時期とおもわれる。	6 か月
2	35	災害に備えての対策(火災、地震、水害)いずれも利用者の安全確保、(避難、誘導)が適時、適切に行われなければならない、職員は方法に習熟していると同時に、地域との協力体制を築くことが大切である。	限られた人員で緊急時に備えることは難しい。平素、機会を捉えて理解を深め、協力援助が出来るよう努めていく。	災害時避難場所として地域の協力要請に応えるべく、備蓄の整備、可能な役割分担など緊密な協力関係を築いていきたい。	6 か月
3	4	推進会議開催の条件が整えられていない。場所の問題については本社を含め、自由に、気軽に会議開催可能な場の確保を期待している。	地域の役員の方々の十分な理解、協力が得られている関係を、より深めていただき、地域に密着したグループホームとして期待されるよう努力していく。	地域の住人としての自覚に立ち、節度を持って積極的な交流につとめる。	6 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。